

# 2023年 法経社会学科 地域社会コース・経済コース 教員業績一覧 (2023年1月～12月)

〔地域社会コース担当教員〕

城戸 秀之

〈論文〉

「デジタル化する社会ビジョンにおける地域社会の可視化に関する一考察——現代社会論の視点から見た地域デジタルインフラの社会的意味——」, 鹿児島大学法文学部, 『経済学論集』101号, 2023年10月。

桑原 司

〈翻訳〉

バーニー・G・グレイザー, アンセルム・L・ストラウス (著), 山口健一・鎌田大資・桑原司訳「自覚文脈と社会的相互行為 (シンボリック相互作用論基本文献翻訳シリーズ No. 3)」鹿児島大学法文学部『経済学論集』100号, 2023年3月。

井原 慶一郎

〈翻訳〉

アダム・ネイマン著, 井原慶一郎訳『デヴィッド・フィンチャー／マインドゲーム』DU BOOKS, 2023年2月。

〔経済コース担当教員〕

三浦 壮

〈発表論文〉

1. 「産炭地における鉄道業の経営と物流・人流網の形成：宇部鉄道の事例」『経済学論集』101号, 2023年10月, 19～59頁, 鹿児島大学法文学部。

2. 「産炭地における石炭輸送鉄道の経営と貨客事業：宇部電気鉄道の事例」『経済学論集』101号，2023年10月，60～90頁，鹿児島大学法文学部。

〈その他〉

1. 「沖ノ山炭鉱機械係・香川愷太郎回顧録」『経済学論集』100号，2023年3月，115～135頁，鹿児島大学法文学部。

澤田 成章

〈論文（単著）〉

「和泊町学校給食センターの島内産品使用割合の変化」鹿児島大学法文学部紀要『経済学論集』第100号，2023年3月。

〈論文（共著）〉

日高優介，澤田成章，西村 知「「教育の島」沖永良部島出身医師の研究一言説の構築に着目して」鹿児島大学法文学部紀要『経済学論集』第100号，2023年3月。

王 鏡凱

〈論文〉

王鏡凱・畑雄大「ローンの元利均等返済額に関する一証明」『経済学論集』，第100号，2023年3月。

呉 博宇

〈学会報告〉

「2000年代半以降の中国大型商業銀行の国際化要因」，日本金融学会2023年度秋季大会，2023年9月30日，於：九州大学。